



南っ子「やればできる。」大作戦

白水台地の陽光「さん」



今日はカタツムリの話をしてします。7月5日(金)のことです、私はいつものように朝の交通指導をしていました。朝7時30分頃、戸次の子どもたちがバスから降りた後、道路を渡して、馬場楠の子どもたちを迎えに歩いていた時でした。いつも花をいただく二ノ文さんの前を過ぎたぐらいの時、1匹のカタツムリが目にとまりました。道の真ん中を横切っていました。ふと考えました。このカタツムリは、たぶん左の草むらから、右の草むらに移動しているのだろう。何のためかな、家族がいるのかな。えさがほしかったのかな。何時に出発したのかな。早く行かないと車にしかれるぞ。鳥に見つかったら食べられてしまうぞ。校長先生が渡してやろうかな。いやがんばっているのだから、ここはやめておこう。「がんばれカタツムリ」「がんばれカタツムリ」といろいろ考えました。

4m幅の道路を渡るのに、みなさんだったら2秒もかからないぐらいだと思いますが、のろまなカタツムリの速さを計算してみたら、5分はかかります。ですから7時25分ぐらいには命がけで草むらを出発したことだと思います。みなさんだったらどうしますか、危険がいっぱい、大きな怪獣から食べられるかもしれない。ダンプカーみたいなものから踏みつぶされるかもしれません。そんな中を5分間歩いていきますか。カタツムリは、朝早く、人や車が少ない時、鳥がいないかなど確かめて、命がけで出発したんです。その後どうなったかは分かりませんが、多分、カタツムリは、休憩しながら7時40分ぐらいには、反対側の草むらに無事に到着したことだと思います。

その時ひらめきました。菊陽南小の子どもたちも、カタツムリに負けないぐらいの勇気や根性を持っている。勉強でも、運動でも、きっと、南っこなら「やればできる」。「よしもっと南小の子どもたちを応援するぞ」と思いました。前期後半の出発にあたり、南っこ「やればできる」大作戦を、みなさんといっしょに取り組んでいこうと思います。

(8/27 このような話をしました)

二殿先生の「国語の授業」実践

前期前半の7月に、菊陽町教育委員会の学習支援アドバイザーの二殿先生(元南ヶ丘小学校長)に、実際に、5年生の国語の授業を見せてもらいました。内容は、今年4月に実施された「全国学力・学習状況調査」の国語の問題「条件付作文の書き方」について、解き方のルールを指導してもらいました。二殿先生は、「野球で言えばルールみたいなものです。このルールが分かれば、どんな問題でも自信をもって解くことができます。」と、解き方のルールを、子どもたちに丁寧に指導されました。子どもたちは、



今後、このルールを活用して、難しい長文にも、自信をもって挑戦してくれると思います。

プール納め

6月11日プール開きをしてから、約1ヶ月、それぞれの学年が10時間程度のプールの授業を行ってきました。この学習で、1・2年生は水慣れ・水遊び・浮く・潜る・けのび・バタ足で進む(モーターボート)こと、3・4年生は、息継ぎを学び、25mを泳ぐこと、5・6年生は、クロールや平泳ぎで、長く続けて泳ぐことができるようになりました。プール納め(7月23日に実施)では、ゲームをしたり、記録会をしたり、今年最後のプールの授業を楽しみました。最後に、お世話になったプールに感謝の気持ちを込め、全員でお礼を言いました。



